

令和5年度 社会福祉法人至誠会事業計画

<はじめに>

新型コロナウイルス感染症はようやく感染症5類に下がり、インフルエンザ並みの扱いになった。コロナ感染症日本上陸以来3年、職員全員の努力により至誠会でのクラスター発生は免れた。今後はコロナ感染症流行前の活気あるみどりの風を取り戻したい。

<至誠会を取り巻く現状>

- ① 高齢要援護者の増加
- ② 家族介護力がない要援護者の増加
- ③ 少子化で介護人材不足

<至誠会内部の現状と課題>

- ① 施設長の交代が行われた
- ② 職員の不足はない
- ③ 利用者の重介護化により一人夜勤が大変になっている
- ④ デイサービス利用者が3階リハビリ室を使用する体制が確立した
- ⑤ 土曜日のデイサービス利用者の増加はない

<今年度の事業目標>

- ① 入居待機者を増やす。そのための情報発信を充実させる
- ② 新規入居までの空白期間を短くする
- ③ デイサービス利用者の医療面でのサポートをより充実させる。そのために看護師と医師との連携方法を工夫する

理事長 三輪 誠

(1) 法人本部事業計画

- ① 基本理念
- ② 実践目標
- ③ 組織図
- ④ 委員会構成
- ⑤ 理事会・評議員会・監事
- ⑥ 行事・研修会・各種委員会など
- ⑦ ICT化の推進
- ⑧ ケアハウス事業と通所介護事業の交流推進
- ⑨ 地域貢献活動
- ⑩ 防災の取り組み
- ⑪ 研修計画
- ⑫ 広報活動
- ⑬ 志太会との連携
- ⑭ ケアハウス事業計画
- ⑮ 通所介護事業計画

「地域を支える、地域で看取る」

人は住み慣れた地域で、なじみの方々とともに最期まで暮らし続けることを望みます。三輪医院グループはそのために最大限の努力をします。

(福)至誠会の理念

「ノーマライゼーション」

人は認知症などの障害を有しても、普通の暮らし、平穏な暮らしを営む権利があります。至誠会はその権利が損なわれないように最大限の援助をします。

実践目標

ノーマライゼーションの理念に基づいて、医師が常駐しているという利点と、地域出身の利用者が多いという特徴を生かし、以下の3つの喜びを提供します。

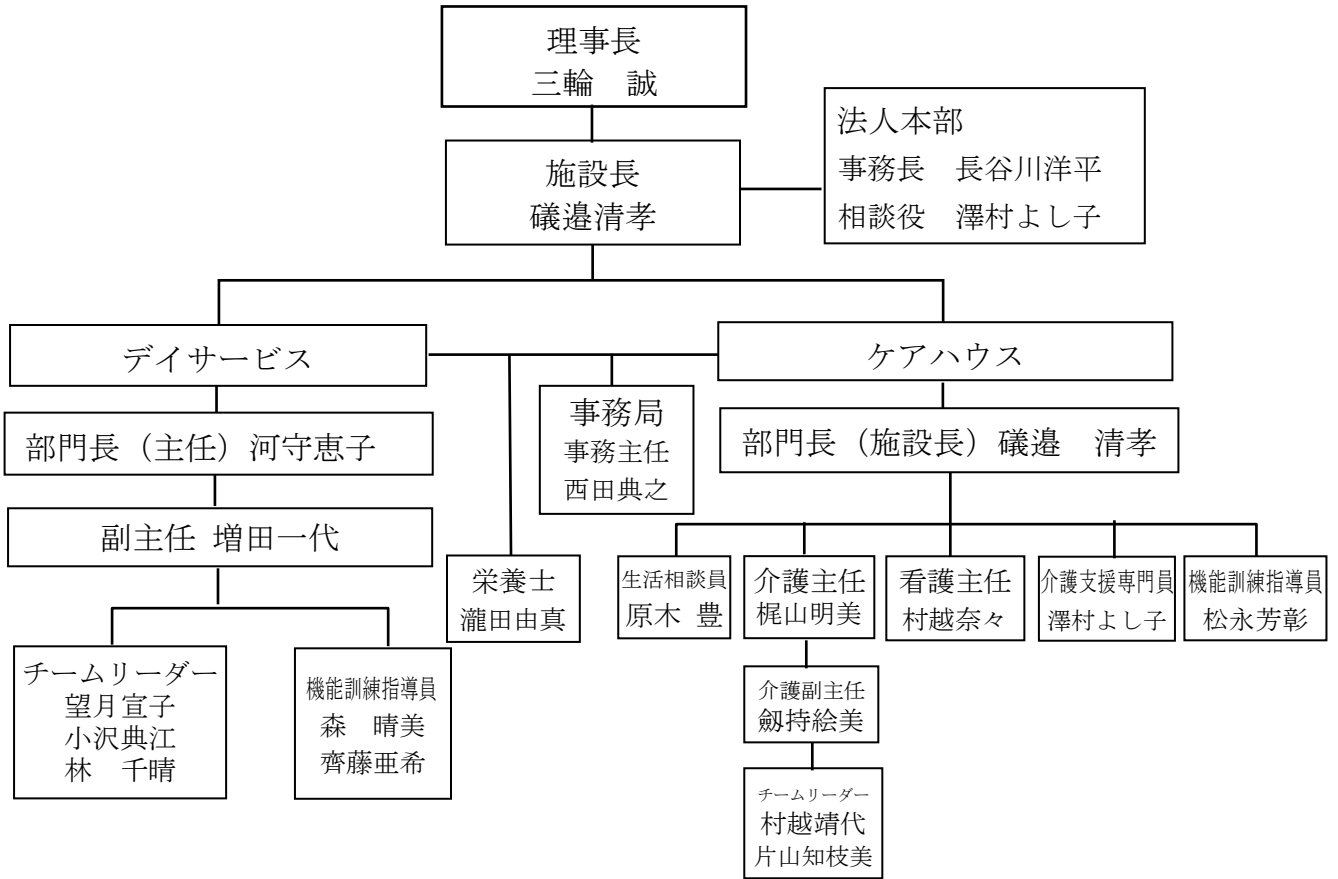
- (1) 健康である喜び
- (2) 尊重される喜び
- (3) 動ける喜び

* 健康管理と苦痛の除去(病気の早期発見、早期治療)

* パーソンセンタードケアの実践(個性の尊重、人生の評価)

* リハビリの実践(生活援助すべてをリハビリと考え、実践)

組織図



委員会構成

委員会	委員名
防災委員会	礒邊 原木 河守 柳原 瀧田 武藤 前嶋 池谷 谷津 齊藤
給食委員会	礒邊 河守 瀧田 渡辺 岩堀
感染予防委員会	礒邊 河守 片山 杉本 林 瀧田
事故対策委員会 (身体拘束・虐待含む)	礒邊 河守 片山 杉本 増田
企画会議 (志太会・至誠会合同委員会)	長谷川 川村 小沼 礒邊

理事・評議員・監事

理事長	三輪 誠	評議員	岡本康雄
理事	長谷川洋平	評議員	清水章子
理事	西田典之	評議員	蒔田延雄
理事	澤村よし子	評議員	萩原俊正
理事	河守恵子	評議員	山口良成
理事	原木 豊	評議員	大石礼子
監事	一ツ田良夫	評議員	中山與之助
監事	杉山文夫		

令和5年度 年間予定

月	法人本部	ケアハウス	デイサービス
4			11周年お祝いの会 桜・藤花見
5	監事監査 理事会(決算報告・事業 報告)	防災訓練	バラ花見 新茶の会
6	評議員会(定期総会)	運動会	
		防災訓練(水害想定避難訓練)	
7			回想法・部門内勉強会
8		七夕	七夕の会 納涼会 回想法
		防災訓練(消火訓練)	
9		敬老会	県立短期大学実習生受け入れ 敬老会
10		秋祭り ふくし・かいご作品展	コスモス・菊花見 紅葉狩り 運動会 事故事例検討会
		総合防災訓練 感染予防講習会	
11		感染予防講習会	家族交流会 恵比寿講 味噌作り
12	理事会(補正予算)	忘年会	忘年会
		防災訓練(情報伝達訓練)	
1		新年会	新年の会 回想法 部門内勉強会
2		節分の会 炊き出し訓練(けんちん汁)	節分の会 梅・河津桜花見 回想法
3	理事会(最終補正予算・ 次年度予算・事業計画)	御花見 外食	木蓮花見 身体拘束・プライバシー勉強会
		防災訓練(消火訓練)	

通年実施事業

ケアハウス	デイサービス
<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶の時間(毎週火曜日午後) ・売店の実施(毎週金曜日午後) ・詩吟クラブ(毎週月曜日) ・園芸クラブ(不定期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児交流会 ・ケアカンファレンス・サービス担当者会議 ・クラブ活動(園芸・調理・作品・手芸・ 音楽・なごみ) ・ボランティア受け入れ
合同開催：事故対策委員会(身体拘束・虐待含む)・感染委員会・防災委員会 ユニケア岡部と合同開催：企画会議	

<ICT化の推進>

- ① 志太会と至誠会の各部署がワイズマンの「MeLL+」を活用し情報共有を密に行うことで紙媒体の削減を図りサービス提供者として質の向上を目指す。
- ② コロナ渦においてご家族の面会、外部研修への参加、グループ法人内での会議の運営等、インターネット機能を活用した方法で継続的に実施していく
- ③ 福祉機器の導入を検討し入居者、職員にとって安心、安全な環境整備に努める。
- ④ Instagram 等の SNS を活用し施設の魅力発信に努め地域の方々をはじめ多くの人たちにケアハウスみどりの風・おかべを知っていただく

<ケアハウス事業と通所介護事業の交流推進>

- ① 介護・看護職員の交流
欠員時の相互補助や交流研修を実施することで、危機管理対策機能の向上を目指す
- ② 設備面（機械浴槽・リハビリ室）における相互活用

<地域貢献活動>

- ① NPO法人「やまぼうしクラブ」が主催する地域の方を対象とした催しへの参加・支援・協力
- ② 秋祭りの開催。外での運営を企画し入居者、ご家族、地域の方を対象としたお祭りを開催する
- ③ 介護人材の育成。学生の実習受け入れ施設としてデイサービスでの実習を受け入れ介護人材育成に協力
- ④ Instagram を新規開設し、地域で開催されるイベントの告知や他施設の行事の宣伝、静岡県藤枝市（岡部町）の発信源になるような活動

<防災の取り組み>

- ① 水防訓練（岡部聖母保育園と連携（園児避難受け入れ想定）も図る）
- ② 地震・火災想定避難訓練（10月予定）
- ③ 消火訓練（年2回以上）参加職員を入れ替えることで同一内容の訓練を複数回実施する
- ④ 部署ごとのグループ LINE や安否コールを活用し情報伝達訓練を行う事で緊急時に備える

<研修計画>

- ① 法人内またはグループ法人内で企画する研修
 - ・「身体拘束の廃止と予防推進」年2回
 - ・「感染予防講習会」「虐待防止」「褥瘡予防」「事故防止」「防災」
 - ・その他、外部の団体が企画する各種研修会への参加（随時）
 - ・年間研修計画の作成
- ② 外部研修
 - ・1階職員通用口の掲示板を充実させ、静岡県老人福祉施設協議会・静岡県社会福祉協議会・静岡県介護福祉士会等が企画する研修案内を掲示し自主的な参加を促していく

<広報活動>

- ① Instagram を新規開設し施設の取り組みや入居者様の生活の様子、空室状況等を外部へ発信していく
- ② 就職相談会等へ積極的に出向きケアハウスみどりの風・おかべを知ってもらう事、将来的に就職へ結び付く活動として繰り返し参加していく
- ③ 地域包括支援センターや藤枝、焼津の社会福祉協議会との連携を促進し、常時 5 名以上の待機者確保を目指す

<志太会（老健ユニケア岡部・通所リハビリ・居宅事業所・訪問看護）との連携>

- ① 通所会議：3時間リハビリ・デイケアと連携し、利用者様の状態に合った事業所利用について提案する
- ② ICT化推進連による利用者情報の共有強化
- ③ 企画会議の実施により職員の福利厚生を始めとした働く環境等の充実に努める

(2) ケアハウス事業計画

<実践目標と行動計画>

- 1 開設から10年以上が経過。「ノーマライゼーション」の理念のもと多くの入居者を無事に看取ることができている。
一方、利用者の高齢化と認知症の進行により介護困難な例が散見されている
この変化に対応できる職員のスキル向上とハード面での工夫が必要になるがカンファレンスや研修を通じ対応していく。
- 2 専門職としてコロナ渦でもできる事を模索し続け、入居者の生活を守りご家族へ安心を提供していく。

「健康管理と苦痛の除去」

- ① 医師の定期診察・緊急時の往診・終末期の看取り医療
- ② 看護部の正確な病状把握、医師への報告
- ③ ミーティングでの医師との情報交換

「パーソンセンタードケアの実践」

- ① 全体会議の充実
- ② ケア会議の充実
施設ケアマネの進行によるケアプランに基づいた会議
- ③ ケアの質の向上を図る
職員が2階3階全体に関わることでチームケアの実践を行いながら専門性を駆使した個別ケアの実践を目指していく

「リハビリの実践」

- ① 専門性が求められるリハビリを専門職が積極的に行い集団体操等の活動は介護職員が代行することで継続的な活動の場を入居者へ提供していく
- ② 職員全員が生活援助全てをリハビリと考え、実践する
- ③ 新規や退院時入居者受け入れの際、デイサービスのリハビリ職員と連携を図りリハビリの実践に関し情報を共有していく
- ④ 3階リハビリ室の活用について。機材が充実しており使用方法を管理し通所利用者、ケアハウス入居者共に有効活用していく

「感染症（新型コロナウイルス）対策」

- ① 行政発信の情報収集と、情報の正確さの見極め・対応への行動のスピード化
- ② コロナウイルスマニュアルに沿い日頃から予防に努め感染者発生時には迅速に対応する
コロナの状況に応じてマニュアルの更新を確実に実施する
- ③ 職員の感染予防徹底と、施設に持ち込まない・入居者様に感染させないことを、新型コロナ感染以外へも継続して行い、入居者様の生命を守る
- ④ 2階・3階共に18室を2ゾーンに分け9名単位で生活し、日頃から感染の拡大を防止する
感染の発症が認められた時、各関係への情報提供と施設での拡大防止への対応がスピードを持ち行えるよう危機管理を徹底する

(3)通所介護事業計画

<実践目標と行動計画>

- ① 3年にわたるコロナ禍を乗り越え、無事に開所12年目を迎えられた。今こそ、コロナ禍前の活気あふれる日常を取り戻すチャンスと考える。「また来たい!」と感じられる魅力あるデイサービスづくりに取り組む。
- ② 「三輪医院グループ・至誠会の理念」を基に築いた歴史を大切に、これからも地域の中で「より多くの方に選ばれる事業所」として成長していきたい。

「スローガン：心と体を元気に!!の実践」

- 1) 感染症対策の緩和を基に、これまで制限されていた余暇活動の再開・充実に取り組み、喜びや生きがいへと繋げていく。
- 2) 重度認知症や寝たきりのご利用者様へも積極的に関わっていく。

「危機管理対策の見直し」

- 1) 自然災害発生時の「ご利用者様・ご家族様用の緊急連絡一斉送信」を導入する（Gmail 又は公式LINE）。
- 2) 自然災害発生時のBCP(事業継続計画)について学び、備えを行う。
- 3) 感染症対策の見直しを随時行っていく。
- 4) 感染症発生時のBCPについて学び、備えを行う。

「デジタル化の取り組み」

- 1) インスタグラムを使用し、デイサービスの活動や魅力を積極的に発信していく。
- 2) ワイズマンを更に活用し、個別機能訓練加算Ⅱの算定や事務作業の効率化に繋げていく。

「介護保険改正への備え」

- 1) 来春の改正を見据え、準備を整えていく。